

氏名	相良翔	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	犯罪社会学、福祉社会学、医療社会学、司法福祉論				
学位	博士(社会学)				
学歴	2011年3月 上智大学大学院 総合人間科学研究科 社会学専攻 博士前期課程 修了				
経歴	2011年4月～2014年3月 更生保護施設 補導員				
所属学会(役職)	ヨーロッパ犯罪学会, 日本社会学会, 日本犯罪社会学会(本部事務局会計委員), 福祉社会学会, 日本社会病理学会, 日本保健医療社会学会, 関東社会学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	薬物依存からの「回復」に関する社会学的研究——ダルクにおけるフィールドワークを通じて	単著	中央大学大学院博士論文、234	相良翔	2018年7月
(3) 学会発表					
1	我が国の身体障害者ソーシャルワークの専門性—文献研究による検討	共著	第35回日本ソーシャルワーク学会大会、倉敷市	○大部令絵、相良翔	2018年7月
2	A positive aspect and a negative aspect of desistance: Through one qualitative study in Japan	単著	EURO CRIM 2018、Sarajevo	○相良翔	2018年8月
3	「贖罪の脚本」は頑健たりうるか?—支援とナラティブの社会学(1)	単著	第91回日本社会学会大会、神戸市	○相良翔	2018年9月
4	離脱ハブタイムが兎落としているもの—ダルクで「回復」を目指す人々へのインタビューより	共著	第45回日本犯罪社会学会大会、福岡市	○相良翔・伊藤秀樹	2018年10月
5	The character of the treatment for drug addiction in offenders rehabilitation facilities in Japan.	単著	Western Society of Criminology 46th Annual Conference、Honolulu	○相良翔	2019年2月
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省: 科学研究費基金(若手研究(B))	薬物処遇重点実施更生保護施設における処遇とその効果に関する研究(研究代表者)			2016年4月 - 2020年3月
2	文部科学省: 科学研究費補助金(基盤研究C)	薬物依存者の「回復」コミュニティのマイクロ社会学的研究(研究分担者)			2017年4月 - 2020年3月
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	医療社会学	2018.10～2019.2	<ul style="list-style-type: none"> ・医療社会学における基礎的な理論や概念について講義し、医療について批判的に検討するための基礎的な能力を養成した。 ・医療社会学に関する基礎的なテキストをもとにグループ学習を行い、それぞれの学生が興味を持つテーマにそったレポートを作成できるように指導した。 ・疑問や質問についてもリフレクションペーパーなどを通じて随時聞き取り、講義に活かした。 		

2	現代社会と福祉	2018.10～2019.2	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉学における中核的な理論や概念について発展的な講義を行い、現代社会における福祉的課題について論理的に考察する能力を養成した。 ・毎回の講義においてリフレクションペーパーを用意し、学生の声を反映した。 ・穴埋め式のレジュメを作成し、講義に集中できるように工夫した。
---	---------	----------------	---

(2) 演習

1	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2018.10～2019.2	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークに関する演習科目の担当者として関わった。 ・グループディスカッションやロールプレイに対して、適宜助言・指導を行った。 ・担当15名
2	ソーシャルワーク演習Ⅳ	2018.10～2019.2	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティアプローチに関する演習科目の担当者として関わった。 ・学生のグループ活動が円滑になるように、適宜助言・指導を行った。 ・担当13名
3	社会福祉専門演習Ⅰ・Ⅱ	2018.4～2019.2	<ul style="list-style-type: none"> ・『犯罪・非行からの立ち直り』などの社会問題をテーマにして、専門書を購読し、グループ討議を行った。 ・社会問題に取り組む最前線の現場に訪問するなどして学習を深めた。 ・学習した内容をレポートや卒業論文で表現するための教育を行った。
4	社会福祉専門演習Ⅲ・Ⅳ	2018.4～2019.2	<ul style="list-style-type: none"> ・履修者の関心から論文を選択し、その内容についてグループ討議を行った。 ・学習した内容をレポートや卒業論文で表現するための教育を行った。 ・Ⅲの履修者は11名、Ⅳの履修者は10名。

(3) 実習

1	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2019.2～2019.3	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者施設・高齢者施設の7施設10名を担当した。 ・実習中に巡回指導を行い、学生や実習指導者と協議し、よりよい実習になるよう指導や調整を行った。
2	IPW実習	2018.8～2018.10	<ul style="list-style-type: none"> ・北埼玉地域担当教員として、それぞれの施設での実習が円滑に進むように環境整備や助言を行った。
3	ソーシャルワーク実習事前指導Ⅱ	2018.4～2018.5	<ul style="list-style-type: none"> ・実習経験をもとに学習をより深めるために、授業準備や資料作成を行った。担当10名。
4	ソーシャルワーク実習事前指導Ⅰ	2018.10～2019.2	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な知識や技能の習得のため、授業準備や資料作成を行った。担当10名。

(4) 論文指導

1	卒業研究(社会福祉)	2018.4～2019.2	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究の内容をより深めるための指導を行った。履修者は11名。
---	------------	---------------	--

(5) その他

1	公務員試験における学習相談	2018.4～2018.10	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験を受験する者に対して、学習のアドバイスや添削等を行った。
2	国家試験における学習相談	2018.4～2019.1	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験受験者に対して、学習のアドバイスを行った。 ・『国家試験対策応援講座』を4回担当した。

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会等の講師

	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	BLUECROSS MOVEMENT Vol.2	BLUECROSS MOVEMENT実行委員会	しゃばり場(テーマ「私の夢とあなたの夢、そしてみんなの願い」、コーディネーター	2018年10月
2	ポスト医ゼミin埼玉	埼玉医ゼミ	相模原障害者施設殺傷事件における社会の『責任』を問う上での論点の整理—社会学的観点からの考察—	2019年2月
3	犯罪・非行を研究する若手研究者ネットワーク キックオフ・ミーティング	犯罪・非行を研究する若手研究者ネットワーク	若手研究者の研究とキャリアを考える(ラウンドテーブル)、司会	2019年3月
4	『一億総活躍社会』実現に向けた総合的研究 にかかると研究会	国立社会保障・人口問題研究所	ダルクにおける支援について	2019年3月

5	バルカンの犯罪学 公開セミナー	龍谷大学 犯罪学 研究センター	A Qualitative study on Positive and Negative Aspects of Desistance from Delinquency in Japan	2019年3月
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	BLUECROSS MOVEMENT(非行少年たちの社会的自立支援のための運動)	実行委員		任期なし
2	日本犯罪学会	本部事務局会計部委員(16期)		2018年1月-2020年 10月
3	社会病理学会	選挙管理委員		2018年11月-選挙 終了
4	犯罪・非行を研究する若手研究者ネットワーク	キャリア担当役員		2019年3月-2021年 3月
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	2年次学年担当			
2	奨励研究部会委員			
3	IPW科目担当者会			
4	学生対応			
5	オープンキャンパスの運営			
6	研究室の解放			
7	スタッフルーム運営			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			